

## 平成30年度医師のための在宅医療セミナー アンケート集計結果

開催日時 平成31年3月20日（水）19：30～21：15  
場所 横須賀市生涯学習センター第1学習室  
参加者数 49人  
(医師16人、看護師10人、事務職3人、訪問看護師1人、その他19人)  
アンケート回収数 39人

### Q1. あなたの職種・勤務先を教えてください。

#### i) 職種

	回 答	件数	割合
1	医師	13	33.3%
2	看護師	10	25.6%
3	事務	1	2.6%
4	MSW	0	0.0%
5	訪問看護師	1	2.6%
6	その他	14	35.9%
	合計	39	

#### Q1-i) 5. その他職種

回 答	件数
ケアマネ	2
訪問介護士	2
作業療法士	2
言語聴覚士	1
臨床心理士	1
公認心理士	1
歯科衛生士	1
CP	1
歯科医師	1
未回答	2

#### ii) 勤務先

	回 答	件数	割合
1	診療所	17	43.6%
2	病院	10	25.6%
3	訪問看護ステーション	1	2.6%
4	その他	11	28.2%
	合計	39	

Q 2. 今日のセミナーの内容をご理解いただけましたか？

1) セミナー内容をご理解できましたか。

i) 講演1

回 答		件数	割合
1	よく理解できた	28	71.8%
2	まあ理解できた	11	28.2%
3	あまり理解できなかった	0	0.0%
4	理解できなかった	0	0.0%
5	未回答	0	0.0%
	合計	39	

ii) 講演2

回 答		件数	割合
1	よく理解できた	23	59.0%
2	まあ理解できた	12	30.8%
3	あまり理解できなかった	0	0.0%
4	理解できなかった	0	0.0%
5	未回答	4	10.3%
	合計	39	

2) 業務に活用できると思いますか。

i) 講演1

回 答		件数	割合
1	とても活用できる	18	46.2%
2	まあ活用できる	20	51.3%
3	あまり活用できない	0	0.0%
4	活用できない	0	0.0%
5	未回答	1	2.6%
	合計	39	

ii) 講演2

回 答		件数	割合
1	とても活用できる	18	46.2%
2	まあ活用できる	17	43.6%
3	あまり活用できない	0	0.0%
4	活用できない	0	0.0%
5	未回答	4	10.3%
	合計	39	

Q 3. 認知症患者の増加に伴い、かかりつけ医に求められる対応もふえることが予想されます。

1) かかりつけ医は、どのような対応がますます必要となってくると思いますか？（複数回答可）

回 答	件数	割合
1 認知症の早期判断	30	76.9%
2 専門機関への紹介	26	66.7%
3 地域包括支援センター等、地域関係機関との連携	25	64.1%
4 医師以外の医療職、介護職との連携	23	59.0%
5 その他	1	2.6%
合計	105	

Q 3-1) 5. その他の記述

患者の親族との関わり
------------

2) かかりつけ医に対して、どのような情報や場の提供等、支援が必要だと思いますか？（複数回答可）

回 答	件数	割合
1 認知症に関する医療情報	21	53.8%
2 専門機関に関する情報	19	48.7%
3 行政などの認知症支援体制に関する情報	24	61.5%
4 専門医との連携づくりの場	17	43.6%
5 医療・介護の多職種との連携づくりの場	25	64.1%
6 特になし	0	0.0%
7 その他	0	0.0%
合計	106	

Q 4. 横須賀市では在宅医療を選択できるまちづくりを進めるための取り組みを推進しています。

1) 在宅医療に取り組む診療所を増やすにはどんなことが必要だと考えますか。（複数回答可）

回 答	件数	割合
1 診療所同士の多協力体制	18	46.2%
2 訪問看護師など多職種との連携	23	59.0%
3 医師対象の研修等の実施	10	25.6%
4 病院と診療所との連携	21	53.8%
5 その他	0	0.0%
合計	72	

2) 診療所・病院に勤務されている方に伺います。（職種問わず）  
現在、在宅医療に取り組まれていますか。

回 答	件数	割合
1 他から紹介患者も受けて積極的に取り組んでいる	16	41.0%
2 かかりつけの患者のみ行っている	4	10.3%
3 近い将来、取り組むことを検討している	1	2.6%
4 条件が整えば取り組んでもよい	2	5.1%
5 これからも取り組む予定はない	1	2.6%
6 その他	0	0.0%
未回答	15	38.5%
合計	39	

Q 5. 横須賀市の取り組みとして、市内を4地区に分けて、地区ごとに診療所医師など、在宅医を中心としたネットワークづくりをすすめる「在宅医療ブロック会議」を設置しています。

1) ブロック会議を知っていますか。

回 答		件数	割合
1	知っており、参加したこともある	16	41.0%
2	知っているが、参加したことはない	5	12.8%
3	知らない	0	0.0%
4	未回答	18	46.2%
合 計		39	

2) ブロック会議で実施・企画している次のような取り組みで、ご興味のあるものは何ですか。（複数回答可）

回 答		件数	割合
1	地域内における在宅医療を行う診療所どうしの協力・連携体制づくり	19	48.7%
2	在宅医の相互学習会（意見交換・情報交換・症例検討会など）	10	25.6%
3	新規に在宅医療を始める医師へのノウハウ伝授企画	0	0.0%
4	病院と診療所の体制づくり	12	30.8%
5	地域内の多職種連携を深めるための研修会など	18	46.2%
6	その他	0	0.0%
合 計		59	

Q 6. 今後、話を聞いてみたい疾患や分野などございましたらお書きください。

また違った視点の認知症も受けてみたいと思います。
地域で行われる認知症患者さんへの働きかけについて。認知症カフェ・RUN伴など

Q 7. 本日のセミナーや地域医療についてご意見・ご感想など自由にお書きください。

大変参考になりました。
分かりやすかった。
横須賀市医師会、横須賀市主催のセミナーに参加させていただき、良かったです。我々の市でも開催されると良いと思いました。いろいろな検査を知る事が出来ました。
本日はありがとうございました。大変勉強になりました。
専門的で難しいところも多かったのですが、有意義な内容というのは良く分かりました。かかりつけ医のDrにたくさん参加して頂けると良いと思いました。
診断書を求められたら専門医にお願いしたい。
医療側（医・歯・薬）が連携できる研修会を市（または医師会）で企画して頂くと、さらに濃い在宅診療ができると思います。